

個性の節度、趣味、教養

の埇塙中に鍛錬創造さ

れた一個人の美と魅力

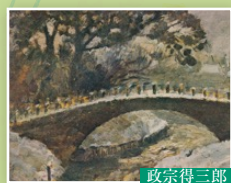
発行元は中央公論社。1911(明治44)年雑誌『青鞥』の創刊に因する「女性の解放」と「自我の確立」を求める声の高まりを背景に、『中央公論』の臨時増刊号で「婦人公論」特集を企画。これが大変な好評を博し、『婦人公論』の創刊につながった。来るべき女性文化創造のために、女性の社会的地位向上と意識変革を促すためのプラットフォームを提供。俗悪と低級を排し、高遠なる知識をなるべく平易に、高尚なる趣味を養うと同時に、人間的、社会的、世界的、人類的の知識要求を満足せしめようと努めた。婦人・女学生・家族などをめぐる諸問題をとりあげ、教養・啓蒙的評論誌として知識階級の婦人から支持を得た。

電子書籍

婦人公論

復刻版

大正編



政宗得三郎



片戀

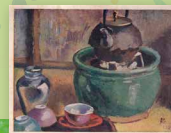
萩原胡太郎



山下新太郎



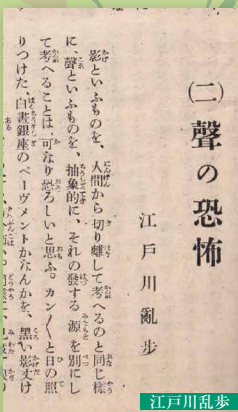
石井柏亭



池田輝方



島中雄作(主幹)



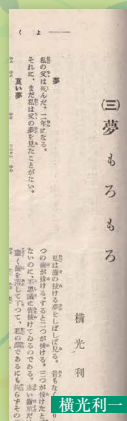
(二) 聲の恐怖

江戸川乱歩

江戸川乱歩



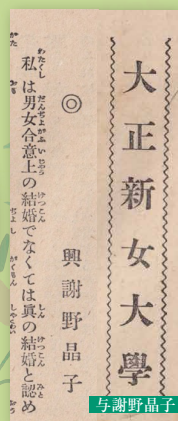
織田一磨



横光利一



北澤寒天



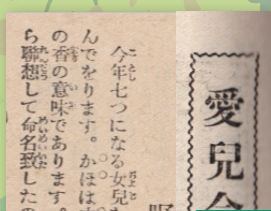
大正新女大學

興謝野品子

与謝野品子

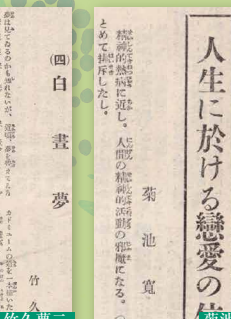


田邊至



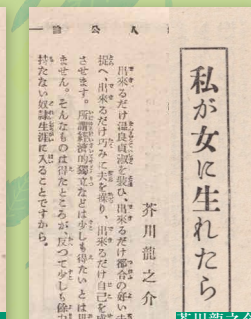
愛兒

野口雨情



(四) 白晝夢

竹久夢三



私が女に生れたら

芥川龍之介



鍋本清方

合同会社 かかし

107-0062
東京都港区南青山 2-2-15
winAoyamaビル UCF6F
tel:03-6403-5803
contact@kakashi-ebook.co.jp
<https://kakashi-ebook2024.net>

プラットフォーム

KinoDen
Kinokuniya Digital Library

株式会社紀伊國屋書店 デジタル情報営業部
ict_ebook@kinokuniya.co.jp
〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10
電話 03-6910-0518

婦人公論

復刻版

大正編

納涼珍話「夏なほ寒き」物語
(一) 隣座敷の聲

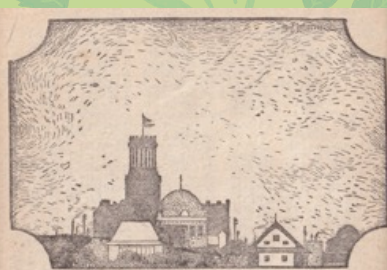
岡本綺堂

岡本綺堂

不愉快な日本を去るに際して

公費近衛文麿

近衛文麿



都會の憂鬱

第三回

佐藤春夫

妖怪變化夜話(第一回)

井上円了

井上円了

崎藤村氏の
悔として見た
「新生合評」

室生犀星

浅草へ、浅草へ

市川猿之助

市川猿之助



正宗徳三郎

独特の本誌構成

高い文化的質

- ・情報の受け手ではなく、社会の時事問題を自ら考えて語る主体へと意識改革と啓蒙を図る場である「時論」
- ・女性の私的なテーマを社会的な問題としてとらえ、公の場として積極的且つ論理的に論じた「公論」
- ・家事労働ではなく、文化や知識を享受し、創造的な趣味として意識改革を図る「趣味」
- ・婦人の因習的な趣味に囚われたり阿らず、問題的情話と科学的且つ趣味的な「知識」
- ・著名な知識人、作家、学者などが多様なテーマについて短く鋭い論考を寄せる「説苑」
- ・子供のみならず子供の教養に任する母親の滋養として、他の雑誌に先駆けて掲載した「童話」
- ・第三流以下の講談的読物や通俗小説は全然廃した、現文壇の大家の「長編小説」と毎号二篇の文壇の新作家の「短篇小説」
- ・社会性の高いテーマを扱った「特集」、「談話交換会」、「大学講座」、「同報通信」、「社会と婦人」、などの「企画」

女性の精神

戦前四大女性雑誌の中で、実用記事が多かった『婦人画報』、『主婦の友』、『婦人倶楽部』とは異なり、「女性の地位向上」や「権利拡張」を掲げた女性評論誌であった。前者が「家庭」に目を向けた実用誌・家庭誌であるのに対し、『婦人公論』は教養誌・社会(問題)雑誌と言える。

芥川龍之介、有島武郎、石井柏亭、市川猿之助、井上円了、巖谷小波、江戸川乱歩、大山郁夫、岡本一平、岡本綺堂、小山内薫、鏑木清方、菊池寛、岸田劉生、北澤楽天、北原白秋、窪田空穂、近衛文麿、佐々木信綱、佐藤春夫、島崎藤村、下田歌子、竹久夢二、谷崎潤一郎、田山花袋、徳田秋声、永井荷風、直木三十五、野口雨情、萩原朔太郎、畑耕一、藤島武二、三宅雪嶺、室生犀星、柳宗悦、横光利一、与謝野晶子、吉野作造

読み応え満点の頁数(200~400頁)・持ち運び易いA5版・広範な発売所(朝鮮(京城)・ロサンゼルス)

解説 ● 前島志保 東京大学 大学院総合文化研究科(超域文化科学/比較文学比較文化)・情報学環(文化・人間情報学)(兼任)教授

● 同時アクセス数3の価格

● 分売可(詳細はHPを参照ください)

配信回数	発行年月日	掲載号	eISBN 共通	セット販売価格(税別)
第1回	1916年1月1日~ 1916年12月1日	第1巻第1号~ 第1巻第12号	978-4-911690-15-4-10-9	通常価格¥176,000 特価150,000円 2027年5月末迄
第2回	1917年1月1日~ 1917年12月1日	第2巻第1号~ 第2巻第12号	978-4-911690-15-4-15-4	通常価格¥176,000 特価150,000円 2027年5月末迄

※販売対象機関:全機関・第3回以降の刊行情報は公式WEBにて随時公開。

戦前期関連復刻版 2026 新刊「東日マガジン」・「婦人画報」・「皇族画報」・「サンデー毎日 戦前期」など電子書籍にて続々刊行

合同会社 かかし kakashi, inc